

平成30年2月19日
記者提供資料
(提出：総務部財政課)

平成30年度 高島市当初予算(案)の概要

～ 住みたい、住み続けたい
「高島」の実現へ～



高島市

平成30年度 高島市当初予算（案）の概要

1. 各会計別当初予算（案）の規模

（単位：千円・％）

区 分	当初予算額	前年度予算額	比較増減	増減率
一般会計	29,538,000	28,159,000	1,379,000	4.9
特別会計	12,031,000	13,293,200	△ 1,262,200	△ 9.5
国民健康保険特別会計（事業勘定）	5,719,000	7,009,100	△ 1,290,100	△ 18.4
後期高齢者医療事業特別会計	655,000	573,400	81,600	14.2
熱供給事業特別会計	10,300	8,900	1,400	15.7
介護保険事業特別会計	5,562,000	5,615,400	△ 53,400	△ 1.0
訪問看護ステーション事業特別会計	84,700	86,400	△ 1,700	△ 2.0
事業会計	12,429,233	12,486,759	△ 57,526	△ 0.5
水道事業会計	1,556,972	1,769,984	△ 213,012	△ 12.0
下水道事業会計	4,697,683	4,493,351	204,332	4.5
病院事業会計	5,637,994	5,680,005	△ 42,011	△ 0.7
介護老人保健施設事業会計	536,584	543,419	△ 6,835	△ 1.3
予 算 総 計	53,998,233	53,938,959	59,274	0.1

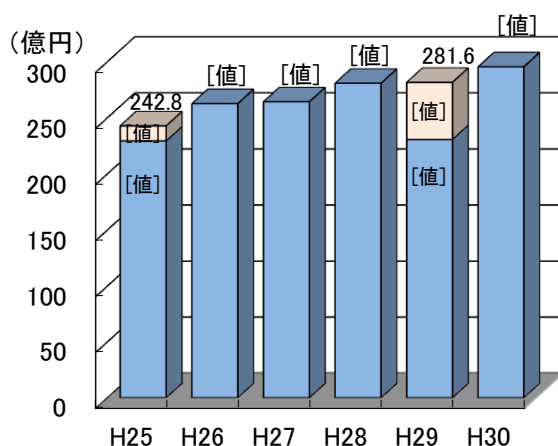
2. 平成30年度一般会計当初予算（案）の概要

平成30年度の一般会計当初予算（案）は、総額295億3千8百万円を計上し、前年度と比較して13億7千9百万円（＋4.9％）の増となり、昨年度に続き合併後最大の規模となります。これは、本庁舎増築工事や道路改良事業、橋梁の長寿命化事業、消雪施設整備事業などの普通建設事業が大幅に増加したもののほか、公共施設の老朽化による施設の維持修繕費が増加したものです。

また、歳入における一般財源不足は約12億円を見込み、財政調整基金の取崩しにより対応します。依存財源である市債については、交付税算入のある有利な合併特別債を積極的に活用し、合併後最大規模の発行となります。

一方、貴重な自主財源である「ふるさと納税」を活用することにより、引き続き、若い世代の結婚、出産、子育てを支援し、中学生までの医療費助成はもとより、妊婦健診に要する費用の全額助成や第2子以降の保育料の無料化、妊娠出産包括支援体制の整備など、人口減少に対応し、子育て環境の確保に重点をおいた予算とします。

一般会計
当初予算規模の推移



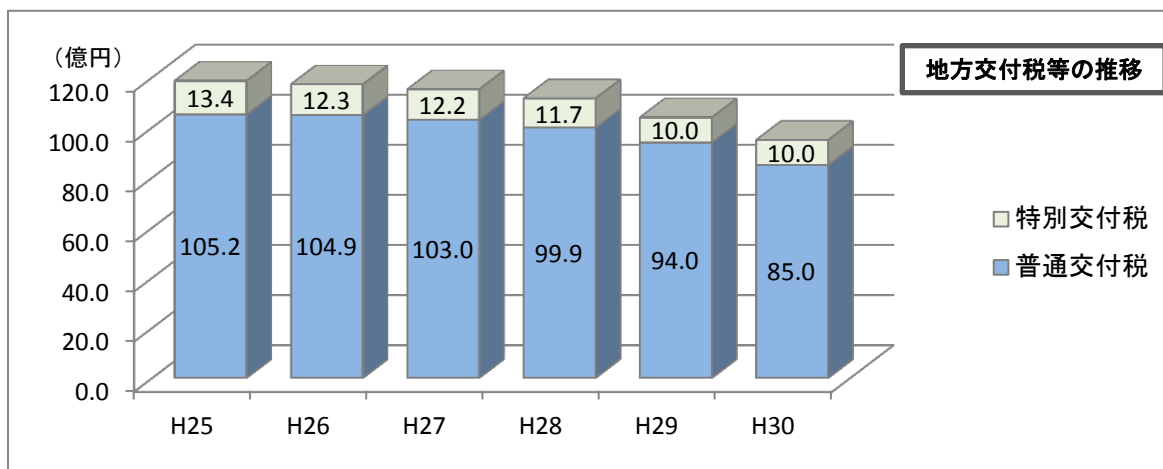
※平成25年度・平成29年度は
骨格予算と政策予算の合計額

【 歳 入 】 (主なもの)

●市税 **5,543** 百万円【対前年度比 ▲77百万円、▲1.4%】

●地方交付税等 **9,500** 百万円【対前年度比 ▲900百万円、▲8.7%】

▶普通交付税 8,500百万円、特別交付税 1,000百万円



(※平成25~28年度は決算額、平成29、30年度は当初予算額)

●国・県支出金 **4,733** 百万円【対前年度比 +96百万円、+2.1%】

●財産収入 **52** 百万円【対前年度比 +3百万円、+6.1%】

●寄附金 **410** 百万円【対前年度比 +10百万円、+2.5%】

●基金繰入金 **1,921** 百万円【対前年度比 +1,114百万円、+138.0%】

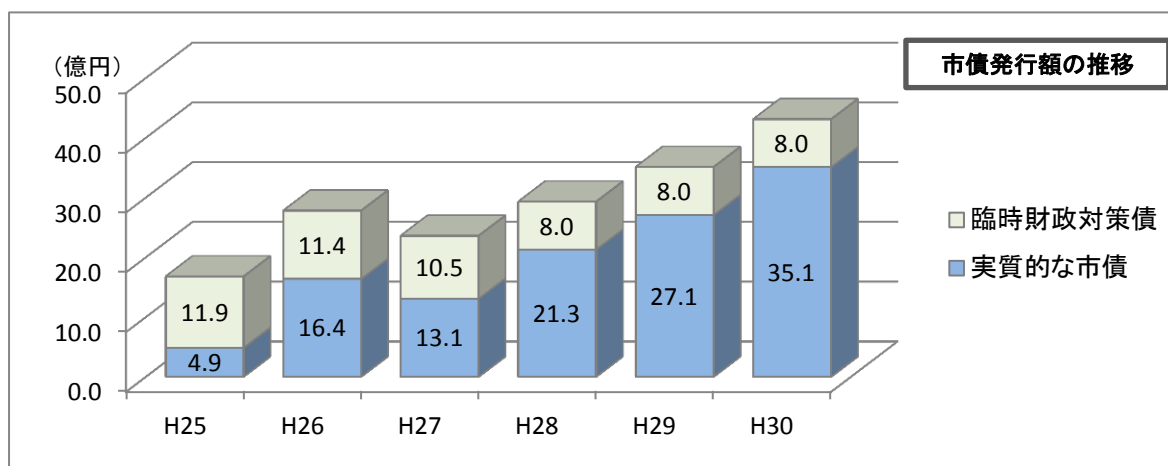
▶上記のうち、ふるさと納税は 438百万円【対前年度比 +58百万円、+15.3%】

▶財政調整基金繰入額は 1,195百万円【対前年度比 +1,068百万円、+838.6%】

●市債 (臨時財政対策債を除く) **3,513** 百万円【対前年度比 +804百万円、+29.7%】

▶上記のうち、合併特例債は 3,245百万円

▶庁舎増築整備、消雪施設整備、橋りょう長寿命化、道路改良事業などに充当



(※平成25~28年度は決算額、平成29、30年度は当初予算額)

【 歳 出 】 (主なもの)

《目的別》

- 議会費 **173** 百万円【対前年度比 +12百万円、+7.3%】
- 総務費 **5,849** 百万円【対前年度比 +1,537百万円、+35.6%】
 - ▶庁舎増築、支所庁舎整備事業
 - ▶びわ湖高島えんむすび事業（ふるさと納税返礼品）
 - ▶鉄道駅バリアフリー化事業
- 民生費 **8,240** 百万円【対前年度比 ▲76百万円、▲0.9%】
 - ▶障害福祉サービス事業
 - ▶特定教育施設・保育施設入所事務
 - ▶放課後児童健全育成事業
- 衛生費 **2,776** 百万円【対前年度比 ▲451百万円、▲14.0%】
 - ▶妊娠・出産包括支援事業
 - ▶環境センター管理運営事業
- 農林水産業費 **1,797** 百万円【対前年度比 +366百万円、+25.6%】
 - ▶マキノピックランド周辺リニューアル事業
 - ▶饗庭野演習場周辺獣害防止柵整備事業
- 商工費 **378** 百万円【対前年度比 ▲57百万円、▲13.2%】
 - ▶企業活動支援事業
 - ▶観光振興施設改修事業
- 土木費 **3,412** 百万円【対前年度比 ▲190百万円、▲5.3%】
 - ▶道路改良事業
 - ▶消雪施設整備事業（水源調査、融雪施設の整備）
 - ▶橋梁長寿命化事業（橋梁の点検、補修工事）
- 消防費 **974** 百万円【対前年度比 ▲49百万円、▲4.8%】
 - ▶消防施設整備事業
- 教育費 **2,384** 百万円【対前年度比 +240百万円、+11.2%】
 - ▶今津総合運動公園拡張事業

《性質別》

- 人件費 **4,423** 百万円【対前年度比 ▲5百万円、▲0.1%】

- 扶助費 **4,476** 百万円【対前年度比 ▲38百万円、▲0.8%】
 - ▶福祉医療事業
 - ▶障がい者サービス給付費等
 - ▶特定教育施設・保育施設入所事務費（多子世帯の保育料負担軽減分）
 - ▶放課後児童健全育成事業

- 物件費、維持補修費 **5,335** 百万円【対前年度比 +531百万円、+11.1%】

- 補助費等 **5,267** 百万円【対前年度比+192百万円、+3.8%】
 - ▶びわ湖高島えんむすび事業（ふるさと納税返礼品）
 - ▶企業会計負担金

- 普通建設事業費 **4,897** 百万円【対前年度比 +818百万円、+20.1%】
 - ▶庁舎増築、支所庁舎整備事業
 - ▶鉄道駅バリアフリー化事業
 - ▶道路改良事業
 - ▶橋梁長寿命化事業（橋梁点検、改修工事）
 - ▶消雪設備整備事業

3. 平成30年度一般会計予算案のポイント

ポイント
1

子育て支援事業を拡充します！

若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえます

- ▶【新規】新婚生活支援事業（世帯所得340万円未満の新婚世帯を対象に引越費用等を支援します）
- ▶【新規】介護職員子育て応援事業（介護職員を対象に学童保育利用料を一部助成します）
- ▶保育園・幼稚園運営事業（第2子以降の保育料を完全無料化します）
- ▶福祉医療事業・妊婦健診事業・放課後児童健全育成事業など従来からの施策は継続

ポイント
2

ふるさと応援寄付金の目標額は4億円、 子育て環境の充実や高島の自然環境の保全などの事業に活用

- ▶ふるさと納税（水と緑のふるさとづくり基金繰入金）の主な充当事業
 - ・妊婦健康診査に係る費用を全額助成（妊婦健診事業）
 - ・第2子以降の保育料を完全無料化（保育園・幼稚園運営事業）
 - ・中学生までの入院、通院に係る医療費の無料化（福祉医療事業）
 - ・障がいを持つ方などの生活行動範囲の拡大と社会参加の促進（福祉交通利用助成）
 - ・マキノメタセコイア並木など地域環境の保全や景観の維持活動を支援（地域まちづくり事業）
 - ・森林の持つ多面的機能の保護（森林環境整備事業）
 - ・公共バス路線の維持（公共交通対策事業）

▶びわ湖高島えんむすび事業

- 寄附金に対する返礼品（市内特産品） 120,000千円
- PR広報宣伝費等 120,287千円



ポイント
3

合併特例債を最大限に活用し、公共施設やインフラ整備を 計画的かつ継続的に推進

- ▶合併特例債を充当する主要な事業
 - ・庁舎増築、支所庁舎整備事業
 - ・鉄道駅バリアフリー化事業
 - ・マキノピックランド周辺リニューアル事業
 - ・道路改良事業
 - ・橋梁長寿命化事業（橋梁点検、補修工事）
 - ・消雪設備整備事業
 - ・今津総合運動公園拡張事業



地方創生推進交付金を活用し 高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略を推進

「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標や基本的方向に基づき、具体的な施策を展開します。

- ▶移住・定住コンシェルジュ事業（移住・定住の相談体制を充実させ、若者等の移住定住を促進します）
- ▶地域連携による高校生キャリアデザイン事業
（若者が地域との関わりの中で、自らの将来ビジョンを考える機会を創出します）
- ▶びわ湖高島ブランド戦略推進事業（地域資源を全国に情報発信し、移住者や観光客の誘致を図ります）
- ▶特産品国内販売戦略事業（特産品の生産振興、新たな販路拡大と販売促進に取り組みます）
- ▶重要文化的景観を活かした観光振興事業（3地域の水辺景観を活かした観光振興に取り組みます）
- ▶インバウンド誘客促進事業（海外観光市場調査や国際旅行博の参加により、海外からの誘客を促進します）
- ▶高島トレイル魅力発信事業（アジア圏をターゲットとした高島トレイルの魅力発信ツアーを実施します）
- ▶“ピワイチ”サイクリング創造事業（びわ湖一周サイクリングの来訪者を市内観光に繋げる取り組みを推進します）
- ▶集落機能維持・強化推進事業（自治会等の現状を分析し、新たな自治の在り方や支援体制を検討します）
- ▶特産品海外販売戦略事業（高島の水産加工品の海外販路拡大を図るため、アジア圏でのマーケット調査を実施します）

地方債現在高

(単位:千円)

会計名	平成26年度末 現在高	平成27年度末 現在高	平成28年度末 現在高	平成29年度		平成29年度末 現在高 見込額	平成30年度		平成30年度末 現在高 見込額	住民1人当たり (H30.1.31人口) 49,586人(単位:円)	
				借入見込額	元金償還 見込額		借入見込額	元金償還 見込額			
一般会計(普通会計)a	25,310,086	24,330,715	24,386,070	4,544,237	2,773,662	26,254,260	4,312,800	2,853,630	27,713,430	558,896	
特別会計	国民健康保険 (事業勘定)	270,000	200,000	100,000	0	100,000	0	0	0	0	
	国民健康保険 (直営診療施設勘定)	114,563	108,473	97,615	-	-	-	-	-	-	
	農林業集落排水	3,073,397	2,785,551	2,551,325	-	-	-	-	-	-	
	下水道	19,478,811	18,565,018	17,695,703	-	-	-	-	-	-	
	小計 b	22,936,771	21,659,042	20,444,643	0	100,000	0	0	0	0	
a + b = c	48,246,857	45,989,757	44,830,713	4,544,237	2,873,662	26,254,260	4,312,800	2,853,630	27,713,430	558,896	
事業会計	水道	3,845,368	3,781,371	3,802,933	189,600	260,572	3,731,961	0	265,598	3,466,363	69,906
	下水道	-	-	-	300,500	1,393,154	19,154,374	376,500	1,435,031	18,095,843	364,939
	病院	2,046,590	1,876,061	1,694,587	105,600	91,405	1,708,782	57,300	53,328	1,712,754	34,541
	老人保健施設	384,227	365,075	569,427	0	45,758	523,669	0	46,584	477,085	9,621
	小計 d	6,276,185	6,022,507	6,066,947	595,700	1,790,889	25,118,786	433,800	1,800,541	23,752,045	479,007
合計 c + d = e	54,523,042	52,012,264	50,897,660	5,139,937	4,664,551	51,373,046	4,746,600	4,654,171	51,465,475	1,037,903	
うち臨時財政対策債 (実質的な交付税)f	11,979,302	12,270,947	12,259,008	786,537	895,351	12,150,194	800,000	947,658	12,002,536	242,055	
差引合計 e-f	42,543,740	39,741,317	38,638,652	4,353,400	3,769,200	39,222,852	3,946,600	3,706,513	39,462,939	795,848	

再掲

一般会計 (臨財債除く)	13,330,784	12,059,768	12,127,062	3,757,700	1,878,311	14,104,066	3,512,800	1,905,972	15,710,894	316,841
-----------------	------------	------------	------------	-----------	-----------	------------	-----------	-----------	------------	---------

基金の状況

(単位:千円)

区 分	平成28年度末 現在高 (A)	平成29年度		平成29年度末 現在高見込額 (A+B-C) (D)	平成30年度		平成30年度末 現在高見込額 (D+E-F) (G)	
		積立額 (B)	取崩額 (繰入額) (C)		積立額 (E)	取崩額 (繰入額) (F)		
1 財政調整基金	6,878,799	7,090	272,456	6,613,433	6,020	1,195,054	5,424,399	
2 減債基金	1,052,669	1,283	10,916	1,043,036	940	0	1,043,976	
3 その他特目基金	4,371,974	906,964	680,010	4,598,928	441,054	726,010	4,313,972	
内 訳	ふるさと・水と土保全基金	32,303	10	10	32,303	10	10	32,303
	公共施設整備基金	1,724,719	404,224	0	2,128,943	2,560	0	2,131,503
	教育施設整備基金	619,703	508	0	620,211	599	0	620,810
	教育振興基金	161,013	200	0	161,213	170	0	161,383
	原子力発電施設等周辺地域整備基金	35,005	20	0	35,025	10	0	35,035
	地域活性化基金	1,201,554	3,372	300,000	904,926	2,000	288,000	618,926
	水と緑のふるさとづくり基金	419,738	462,392	380,000	502,130	400,460	438,000	464,590
	指定管理施設管理基金	177,939	36,238	0	214,177	35,245	0	249,422
合計(1~3)	12,303,442	915,337	963,382	12,255,397	448,014	1,921,064	10,782,347	

《特別会計》

(単位:千円)

区 分	平成28年度末 現在高 (A)	平成29年度		平成29年度末 現在高見込額 (A+B-C) (D)	平成30年度		平成30年度末 現在高見込額 (D+E-F) (G)
		積立額 (B)	取崩額 (繰入額) (C)		積立額 (E)	取崩額 (繰入額) (F)	
1 介護保険給付基金	404,775	19,924	0	424,699	256	39,574	385,381
2 訪問看護ステーション基金	106,834	5,360	0	112,194	11	1,929	110,276
合 計 (1~2)	511,609	25,284	0	536,893	267	41,503	495,657

《定額運用基金》

(単位:千円)

区 分	平成28年度末 現在高 (A)	平成29年度		平成29年度末 現在高見込額 (A+B-C) (D)	平成30年度		平成30年度末 現在高見込額 (D+E-F) (G)
		積立額 (B)	取崩額 (繰入額) (C)		積立額 (E)	取崩額 (繰入額) (F)	
1 土地開発基金	684,456	390	0	684,846	350	0	685,196
2 育英資金貸付基金	162,773	100	0	162,873	20	0	162,893
3 清水安三育英資金貸付基金	72,818	30	0	72,848	20	0	72,868
4 高島屋奨学金育英資金貸付基金	205,411	10	0	205,421	30	0	205,451
5 まちづくり資金貸付基金	30,295	20	0	30,315	10	0	30,325
6 国民健康保険高額療養費貸付基金	15,137	31	0	15,168	31	0	15,199
7 国民健康保険財政安定化資金貸付基金	401,458	509	0	401,967	850	0	402,817
合 計 (1~7)	1,572,348	1,090	0	1,573,438	1,311	0	1,574,749

(単位:千円)

基金合計	14,387,399	941,711	963,382	14,365,728	449,592	1,962,567	12,852,753
------	------------	---------	---------	------------	---------	-----------	------------